

1 令和5年度入院・外来実績

(1) 入院

ア 延入院患者数は108,052人となり、前年度実績(105,341人)と比べて2,711人増加しました。

イ 一日平均入院患者数は295.2人となり、前年度実績(288.6人/日)と比べて6.6人増加しました。

ウ 患者一人1日あたりの診療単価は69,063円となり、前年度実績(72,102円)と比べて3,039円下回りました。

・以上の結果、入院収益については、患者数は増加しましたが、入院単価の下落により、前年度決算額と比べて1億3,200万円余減少しました。

(2) 外来

ア 延外来患者数は127,455人となり、前年度実績(130,532人)と比べて3,077人減少しました。

イ 外来診療日(243日/年)一日当たりの平均患者数は、524.5人となり、前年度実績(537.2人/日)(243日/年)と比べて12.7人減少しました。

ウ 患者一人1日あたりの診療単価は23,072円となり、前年度実績(22,467円)と比べて605円上回りました。

・以上の結果、外来収益については、患者数は減少しましたが、外来単価の上昇により前年度決算額と比べて、800万円余増加しました。

【入院・外来実績 年度推移】

区 分		令和4年度決算 ①	令和5年度決算 ②	前年度対比	
				②-①	②÷①
入院	延入院患者数(人)	105,341	108,052	2,711	102.6
	本院分	100,808	104,114	3,306	103.3
	救命C分	4,533	3,938	▲595	86.9
	1日平均入院患者数(人)	288.6	295.2	6.6	102.3
	本院分	276.2	284.5	8.3	103.0
	救命C分	12.4	10.8	▲1.7	86.6
	病床利用率(許可ベース)(%)	68.2	70.7	2.5	103.6
	本院分	70.3	73.3	3.0	104.3
	救命C分	41.4	36.5	▲4.9	88.1
	病床利用率(実稼働ベース)(%)	72.9	74.6	1.7	102.3
	本院分	75.5	77.7	2.3	103.0
	救命C分	51.7	44.8	▲6.9	86.6
	入院1日診療単価(円)	72,102	69,063	▲3,039	95.8
	入院収益(千円)	7,595,323	7,462,402	▲132,921	98.2
	平均在院日数(日)	11.6	11.8	0.2	101.3
外来	延外来患者数(人)	130,532	127,455	▲3,077	97.6
	1日平均外来患者数(人)	537.2	524.5	▲12.7	97.6
	外来1日診療単価(円)	22,467	23,072	605	102.7
	外来収益(千円)	2,932,626	2,940,688	8,062	100.3
	紹介率	69.3	76.2	6.9	110.0

## 2 令和5年度収支実績

### (1) 収益的収支（税抜）

#### ア 収益

- ・収益は132億3,700万円余で前年度の決算額を24億300万円余下回りました。
- ・医業収益は、入院患者数は微増したものの、入院単価の下落により、入院収益は74億6,200万円余と前年度の決算額と比べて1億3,200万円余減少しました。また、外来収益は、外来患者数は減少したものの、外来単価の上昇により、29億4,000万円余と前年度と比較して800万円余増加しました。
- ・その他営業収益については、新型コロナウイルスに関する空床補償補助金の補助単価の下落と、対象病床の減少により、20億2,400万円余の減少となりました。
- ・運営費負担金収益（営業収益）については、研修医の減による人件費の減少等により、前年度の決算額と比べて6,500万円余下回りました。
- ・臨時利益については、フロンの撤去を行ったことにより、資産除去債務を取り崩したことによるものです。

#### イ 費用

- ・費用は133億4,200万円余で、前年度と比較して、1億300万円余増加しています。
- 給与費について、三重県人事委員会勧告により本給は増加しましたが、コロナ特勤手当等、手当の減少と、退職制度変更により退職給付費用が減少したことにより1億9,400万円余減少しました。しかし、人件費等の上昇による委託費の増に伴い、経費は1億5,900万円余り増加し、材料費は、血管内治療件数の増等により前年度と比べて1億6,300万円余増加しました。

#### ウ 損益

- ・経常損益は1億2,200万円余の赤字となり、前年度と比較して、23億4,900万円余、収支が悪化しております。純損益も1億500万円余の赤字となり、前年度と比較して25億700万円余収支が悪化しています。

今年度は新型コロナウイルスに関する空床補償補助金が大きく減少（令和4年度：24億7,000万円余 → 令和5年度：5億700万円余）したことにより、前年度対比が大きくなっており、補助金を除いて前年度と比較した場合、3億7,000万円余の収支悪化となっています。

経常赤字となった最も大きな要因は、入院収益の伸び悩みによるものです。

### (2) 資本的収支（税込）

- ・建設改良費は24億1,100万円余となり、前年度と比較して、20億円余の増額となりました。主な建設改良費としては、放射線治療棟建設（8億6,000万円余）、リニアック本体（6億8,900万円余）、生化学免疫統合分析装置一式（6,500万円余）、医療用放射線システム（ソフトウェア）（5,500万円）等があります。
- ・令和5年度は投資有価証券については既発地方債を額面4億円分購入しました。
- ・以上の結果、資本的収支は、18億9,100万円余のマイナスとなりました。

## 【収益的収支】（税抜）

（単位：千円）

区分	款	項	令和4年度決算 A	令和5年度決算 B	前年度対比 C=B-A
収益	営業 収益	医業収益 ①	10,692,653	10,558,659	▲ 133,994
		うち入院収益	7,595,323	7,462,402	▲ 132,921
		うち外来収益	2,932,626	2,940,688	8,062
		運営負担金収益	1,971,144	1,905,360	▲ 65,784
		資産見返負債戻入	64,011	62,779	▲ 1,232
		その他営業収益	2,571,134	546,659	▲ 2,024,475
		小計 ③	15,298,942	13,073,457	▲ 2,225,485
	営業外 収益	運営負担金収益	41,337	20,515	▲ 20,822
		その他営業外収益	125,791	126,131	340
		小計 ④	167,128	146,646	▲ 20,482
		臨時利益 ⑦	174,516	17,091	▲ 157,425
		計	15,640,586	13,237,194	▲ 2,403,392
	費用	営業 費用	医業費用	12,105,432	12,213,629
給与費			6,421,707	6,222,272	▲ 199,435
材料費			2,838,148	3,001,559	163,411
うち薬品費			1,542,500	1,626,022	83,522
うち診療材料費			1,229,021	1,307,432	78,411
経費			2,042,148	2,201,844	159,696
減価償却費			762,152	742,760	▲ 19,392
資産減耗費			4,141	7,497	3,356
研究研修費			37,136	37,697	561
一般管理費			548,140	552,437	4,297
うち給与費			457,735	462,964	5,229
小計 ②			12,653,572	12,766,066	112,494
営業外 費用		財務費用	62,518	31,883	▲ 30,635
		その他営業外費用	522,686	544,545	21,859
		小計 ⑤	585,204	576,428	▲ 8,776
	臨時損失 ⑧	0	0	0	
	計	13,238,776	13,342,494	103,718	
	【医業損益】 ①-②	▲ 1,960,919	▲ 2,207,407	▲ 246,488	
	【経常損益】 ⑥ (③+④) - (②+⑤)	2,227,294	▲ 122,391	▲ 2,349,685	
	【純損益】 ⑥+⑦-⑧	2,401,810	▲ 105,300	▲ 2,507,110	

## 【資本的収支】（税込）

（単位：千円）

区分	款	項	令和4年度決算 D	令和5年度決算 E	前年度対比 F
収入	資本的 収入	長期借入金	385,000	2,121,000	1,736,000
		運営負担金	0	0	0
		その他収入	9,303	2,310	▲ 6,993
		小計 ⑨	394,303	2,123,310	1,729,007
支出	資本的 支出	建設改良費	404,324	2,411,072	2,006,748
		償還金	1,224,706	1,209,311	▲ 15,395
		投資有価証券購入費	297,074	394,751	97,677
		小計 ⑩	1,926,104	4,015,134	2,089,030
	収支 ⑨-⑩	▲ 1,531,801	▲ 1,891,824	▲ 360,023	

### 3 経営指標

・令和5年度経営指標の各比率については下記のとおりです。

(単位：%)

	令和4年度実績 a	令和5年度実績 b	前年度対比 b - a
医業収支比率	84.5	82.7	▲ 1.8
経常収支比率	116.8	99.1	▲ 17.7
給与比率 (対医業収益)	64.3	63.3	▲ 1.0
材料比率 (対医業収益)	26.5	28.4	1.9
経費比率 (対医業収益)	19.9	21.7	1.8
繰入比率 (対経常収益)	13.0	14.6	1.6

$$\text{医業収支比率} = \frac{\text{医業収益}}{\text{営業費用}} = \frac{10,558,659}{12,766,066} = \boxed{82.7\%}$$

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常収益 (営業収益 + 営業外収益)}}{\text{経常費用 (営業費用 + 営業外費用)}} = \frac{13,073,457 + 146,646}{12,766,066 + 576,428} = \boxed{99.1\%}$$

$$\text{給与比率} = \frac{\text{給与 (医業費用分 + 一般管理費分)}}{\text{医業収益}} = \frac{6,222,272 + 462,964}{10,558,659} = \boxed{63.3\%}$$

$$\text{材料比率} = \frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} = \frac{3,001,559}{10,558,659} = \boxed{28.4\%}$$

$$\text{経費比率} = \frac{\text{経費}}{\text{医業収益}} = \frac{2,290,769}{10,558,659} = \boxed{21.7\%}$$

$$\text{繰入比率} = \frac{\text{運営費負担金}}{\text{経常収益 (営業収益 + 営業外収益)}} = \frac{1,905,360 + 20,515}{13,073,457 + 146,646} = \boxed{14.6\%}$$